

2026年度茨城大学模擬授業：地域未来共創学環

分類	模擬授業タイトル	授業概要	分類番号	担当教員	授業科目名	キーワード	オンライン対応	50～60分前後授業対応可否	SDGs該当番号	模擬授業可能曜日時間帯	備考
ビジネス、地域・共創	「他店よりも割引します」という広告の罠	ビジネスにおける競争は戦略的相互依存関係として捉えることもできます。囲碁や将棋のように、自己の行動だけでなく相手の行動と意思がお互いの利害を決定するからです。例えば、「他店よりも割引します」という広告の裏には意外な思惑が隠されている可能性があります。この授業では実際にゲームを行いながら戦略的依存関係における意思決定の例を体験します。	R1	田中 泉	ミクロ経済学	ゲーム論、戦略的依存関係、広告		○	4	応相談	
	地域企業のメディア戦略	地域企業によるメディア活用はマス・メディアを使った商品告知による売り上げ増やブランドイメージの構築、インターネットによる企業情報の発信、ICTを使ったビジネスソリューションなど多岐にわたります。本模擬授業ではメディアの活用が企業活動にどのような内的外的「効果」を与えているのかについて考察します。	R2	岩佐 淳一	地域メディアビジネス論	メディアの利活用・メディア戦略	○	○	9	応相談	
	農産物流通と豊かさ	この模擬授業では一般にはあまり馴染みのない農産物の流通についてお話しします。また、流通が上手く機能しないと豊かな暮らしができないことを、経済学の考え方を使いながらお話しします。	R3	池田 真也	農産物流通論	市場、価格、需要と供給、中間業者	○	○	2	応相談	
	マーケティング・サイエンス最初の一步～消費者の行動を分析してみよう	あなたが好きな製品やサービス、最初はどんなきっかけで知ったのでしょうか？ずっと利用しているのはなぜでしょうか？消費者の行動を分析すると見えてくるものがあります。そして企業はそれを、どのようにマーケティングに活かせるのでしょうか？模擬授業では、実際のデータを参加者の皆さんと一緒に見ながら、考えます。	R4	田原 静	マーケティング・サイエンス	マーケティング、マーケティング・リサーチ	○	○	12	応相談	
	魅力ある都市や地域とは～地域課題を思考する第一歩	みなさんにとって、都市や地域の魅力とは何でしょうか。にぎわっている雰囲気、移動や買い物の利便性など、それぞれの「魅力」語りがあがるでしょう。この授業では、都市社会学や都市工学などの知見やデータをみつづ、都市や地域の魅力について思考のアップデートを目指します。	R5	伊藤 雅一	地域社会学概論	都市、地域、コミュニティ、利便性、生活空間	○	○	11,17	応相談	
	伝わるって楽しい！ ケース×ゲームで考える多文化共生のヒント	茨城には約10万人の外国籍住民が暮らしています。実はこれ、全国で10番目に多いって知ってましたか？学校でも地域でも、いろんな国のルーツをもつ人と出会うことが当たり前になってきた今、大事なものは、お互いのちがいを楽しみながら、安心して暮らせる関係をつくることです。授業では、実際のケースやゲームを体験しながら、「文化のちがいでっておもしろい！」「どうすればずれ違わずに伝わるんだろう？」そんな「多文化共生のヒント」を、みんなで楽しく探っていきます。	R6	瀬尾 匡輝	多文化共生論	多文化共生、異文化理解、異文化コミュニケーション	○	○	4, 8, 10, 16, 17	応相談	
	地域づくりのためのワークショップ入門	「棚田で耕作放棄地が目立つようになってしまったが、どうすればよいのだろうか？」、「小学校が廃校になってしまったが、思い出深い木造校舎を保存・活用したいがどうしたらよいのだろうか？」、このような身近な問題を、住民自身が解決し、地域を活性化していく方法について、実例にもとづいてお話しします。	R7	福与 徳文	コミュニティデザイン	地域づくり、住民参加、ワークショップ、耕作放棄地再生、廃校活用	○	○	9,11,15,17	応相談	
	まずはゆとりと感性をデータで分析してみる。-地域の風景づくりのために-	「データ分析って難しそう。数学苦手だし。。。」。ですよね、不安ですよね。でも大丈夫！複雑で大量な計算はパソコンにサッとやらせてもらいましょう。「風景に対する人々の感性をデータ化して、どうやって地域の風景づくりに活かすのか？」をテーマに、実際にライブでデータ分析の流れを楽しくゆとりとお見せします。	R8	高瀬 唯	ランドスケープデザイン	景観、観光まちづくり、アンケート分析	○	○	11	応相談	

2026年度茨城大学模擬授業：地域未来共創学環

分類	模擬授業タイトル	授業概要	分類番号	担当教員	授業科目名	キーワード	オンライン対応	50～60分前後授業対応可否	SDGs該当番号	模擬授業可能曜日時間帯	備考
データサイエンス、スマート生産・IoT	沢山の式を簡単に取り扱うには	線形代数という言葉は耳慣れない用語かもしれませんが大学で広く学ぶ数学です。行列が出てきて、最初はその多くの数・記号に圧倒されるかもしれませんが、しかし、慣れてくるとたくさんを扱う機械学習などでは凄く楽ができます。線形代数とはどんなものなのかについて学んでいきます。	R9	木下 嗣基	線形代数	数、方程式、機械学習	○	○		応相談	
	社会で役立つ微積分	微積分学のような基礎数学は、複雑な自然現象を理解するためだけでなく、ビジネスやデータサイエンス、人工知能の仕組み等を理解していく上でも必要になります。数学の授業で習う微分や積分が実際にどのような形で使われているのか簡単な例を紹介します。	R10	小西 康文	微積分学	微分、接線の傾き、積分、面積	○	○	9	応相談	対象学年：3年生 微分や積分に一度でもふれたことがある学年として、主に3年生を対象としました。
	AIといっしょにアプリをつくろう	この授業では、AIの基本的な仕組みや身近な活用事例を紹介したうえで、最新の生成AIを活用したアプリ開発を実際に体験します。プログラミングの知識がなくても、AIと対話しながらアイデアを形にする、今どきのアプリ開発を楽しみましょう。	R11	加納 徹	機械学習	AI、機械学習、Webアプリケーション	○	○	4, 9	金曜または応相談	
	株式運用のデータサイエンス	株価予測は困難なのに、投資が上手い人・下手な人があるのは何故でしょうか？リスクの減らし方にテクニックがあり、下手な人は無駄なリスクを取って自滅します。さらに利益を生む要因として「リスクプレミアム」と「ミスプライス」があります。プロの運用会社はこれらを「ベータ」と「アルファ」と呼び、様々な運用戦略に生かしています。本講義では私の実例（機械学習を用いた投資信託）を通じて投資を科学します。	R12	鈴木 智也	機械学習演習	金融工学、資産運用、機械学習、データサイエンス	○	○	4, 10, 16	応相談	オンラインの「夢ナビ講義」は内容がやや難しいため、対面の場合は内容を易しく変更するつもりです。しかし時間の都合により内容の一部をカットする可能性があります。従いましてご希望の難易度に応じて、オンラインまたは対面をご選択頂ければ幸いです。
	エンピツでやるコンピュータビジョン体験	紙とエンピツを使って、コンピュータに「目」を持たせるビジョン技術を自分の手で体験してみましょう。プログラミングがまったくわからなくても大丈夫です（エンピツが使えるらOK）。コンピュータの考え方は、予想以上にシンプルで地道？と同時に、生き物の視覚のすばらしさ（とお茶目さ）もわかります。	R13	梅津 信幸	画像処理	CG、ドット絵、メディアアート、目の錯覚	○	○	4, 9, 12	応相談	個人ごと、グループごとのどちらのエンピツ課題も体験します。
	IoTで何ができるのか	最近色々なところでIoTという言葉聞くことがあると思います。IoTとはどういうものか、色々なセンサとマイクロコンピュータを使って学習します。なるべく多くの応用例を示して、IoTによってあんなこともこんなこともできるという事を、実際に見て触って理解してもらいます。	R14	湊 淳	IoT活用法	センサ、マイコン、計測、実験	○	○	9,11,13	応相談	
	未来の農業はゲームになる？ ～データでつながるスマート農業～	本模擬授業では、スマート農業を単なる機械化としてではなく、「データに基づく意思決定」として捉える。センサやAIの活用に加え、農場を仮想空間に再現するデジタルツイン、農業データを共有するデータ連携基盤の概念を紹介し、未来の農業が技術・社会・人の判断を結びつける総合的なシステムであることを学ぶ。	R15	岡山 毅	スマート農業生産	スマート農業、ドローン、ロボット農機	○	○	2,14,15	応相談	